

連合北海道第3回エネルギー・環境政策委員会を開催 「中間整理」に向けた進め方と項目整理案などを確認

連合北海道エネルギー・環境政策委員会は2月8日、札幌市内で第3回委員会を開催した。

第3回委員会では6月を目処にとりまとめる「中間整理」に向けて整理する項目について、これまでの本委員会と小委員会の議論や確認をふまえ、道民参加による北海道のエネルギー・環境政策づくりなど4課題7項目が事務局から示され確認された。

委員会の前段では「グリーン・エコノミーと北海道のエネルギー政策」と題して、北海道大学の吉田文和教授を招いて学習した。

●6月を目処に中間整理

6月を目処にとりまとめる「中間整理」の位置づけについては、国の方針を踏まえた原子力発電所の運転再開など短期的な課題に対応するほか、原子力に依存しない北海道のエネルギー需給のあり方について、道民生活や地域経済、雇用との関係を踏まえ、中・長期的に取り組む課題を整理するとしている。

なお、短期、中・長期の時間軸の考え方としては、連合本部と同様に、短期は「概ね2013年まで」、中・長期は「2020年、2030年あるいは2050年を見据える」との考えを明らかにした。

今回示された項目については、引き続き5月まで検討・議論を行って成案していく事とし、「中間整理」までに議論が尽くせない課題については、継続的な検討課題として整理する、とした進め方についても確認した。

●第3回エネルギー・環境政策委員会で確認された「中間整理」に向けた項目整理

以下に掲げる整理項目は、2月22日に開催する第5回執行委員会に示した上で、次回（2/23）の小委員会において議論、検討を加え、本委員会の討議に付すこととする。

- (1) 道民参加による北海道のエネルギー・環境政策づくり
 - ・道民参加の仕組み
 - ・原子力に依存しない道民生活や産業・雇用の将来
- (2) 既存の原子力発電への対応
 - ・原子力発電所の運転再開に向けた対応
 - ・原子力防災の拡充・強化と自治体機能
 - ・プルサーマル発電と核燃料サイクル
- (3) 新エネルギーや再生可能エネルギーの導入促進
 - ・地域経済や産業振興、雇用の創出
 - ・安定的な電力供給とインフラ整備
- (4) 原発立地地域の将来展望

「グリーン・エコノミーと北海道のエネルギー政策」について学習

学習会ではグリーンエコノミーの視点からエネルギー政策について研究している、北海道大学大学院経済学研究科教授の吉田文和氏から講演いただいた他、意見交換が行われた。

公害問題の視点から福島第一原子力発電所事故を「原発災害」としてとらえる吉田教授は、事故対策として「汚染源・汚染原因の究明、発生源対策、被害の調査、被害者の救済が大事だ」とした。また、事故の背景には「大型火力発電のコストが下がり、原発のコスト優位が崩れる」とし、安全対策費用の節約があると指摘。

停止中の原子力発電所の再稼働については、「動かすかどうかの議論よりも、動かすならどういふ条件をつけるかが重要」と述べた。

再生可能エネルギーについては、北海道やデンマーク、オランダなどの国内外の取り組みを報告した後、再生可能エネルギーは多方面にわたる技術開発と製造、設備建設、インフラ整備などもあわせ、新産業の巨大な市場と膨大な雇用が見込まれると述べ、再生可能エネルギー産業を組み込んだ地域経済、生活のあるべき方向を地域で考え、実行することが大切だと強調。地域経済と再生可能エネルギーの導入促進については、広く市民がエネルギー生産に参加する太陽光発電、吉田教授が北海道では特にポテンシャルが高いと評価している風力発電では、農業関係者が陸上風車、漁業関係者が洋上風車、その他に外部事業者や市民風車の参画などとする北海道モデルを紹介した。

また、省エネや一時的に化石燃料の利用率向上があるとしても、再生可能エネルギーの普及拡大により、地球温暖化のリスク、原子力のリスク、輸入化石燃料依存のリスクを解決することができる」と述べた。

意見交換の中では今後の北海道のエネルギーを考える場として、道がイニシアチブをとって、道民参加による「北海道エネルギー・環境会議」の設置を提唱した。

※学習会の詳細な内容は後日、各組織に送付予定。

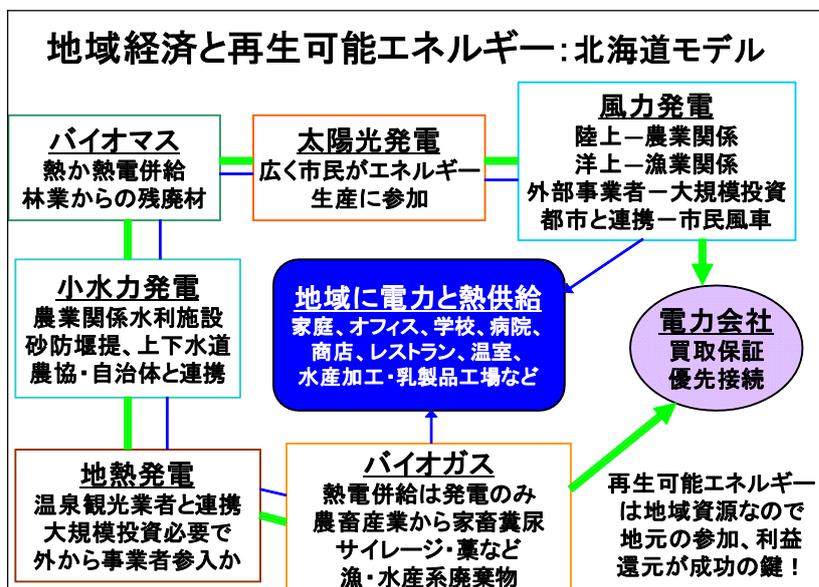
－今後の委員会日程と内容－

1. 本委員会

- 2月 対道要請（中旬）「再生可能エネルギーの導入促進・省エネの推進に向けた北海道への提言」
- 4月 第4回（中旬）[主な内容：(a) 中間整理（素案）に基づく自由討論、(b) 補足的な学習会も検討する]
- 5月 第5回（下旬）[主な内容：中間整理(案)]
- 6月 地方委員会（27日） 中間整理の提案

2. 小委員会

- 2月 第4回（23日）[主な内容：中間整理に向けた意見交換]
- 4月 第5回（上旬）[主な内容：中間整理の基本的考え方（素案）について]
- 5月 第6回（上旬）[主な内容：中間整理(案)について]
- 6月 第7回（開催未定）



以上